

## ふるさと発見！（小・中学生向け）

# がくふ よつば学府

〈 地区・世帯数・人口 〉 令和2年12月末現在

磐田北小学校区	約 7500 世帯	約 18,000 人
富士見小学校区	約 2900 世帯	約 7,000 人
合計	約 10,400 世帯	約 25,000 人

磐田北小学校通学区：見付(北見・美登里・元宮・地脇・住吉・河原・幸・二番・梅屋・西坂・馬場・宿・東坂・一番・加茂川通り)、水堀、緑ヶ丘、今之浦四丁目・五丁目、安久路一丁目の一部、城之崎四丁目の一部、中泉の一部  
 富士見小学校通学区：富士見町、富士見台、元天神町、岩井（東大久保）・西貝塚(東大久保)・見付・向笠新屋の一部



よつば学府の名称は、城山中学校の校章「よつば」からつけられました。「よつば」は、4枚の葉が愛によってしっかり結びあがり一体となり、助け合って生活している姿を表しています。  
 よつば学府には、歴史と文化がいっぱい詰まった、おもしろいものがたくさんあります。さあ、調べてみましょう。ここでは、よつば学府について調べるための図書館の本を紹介します。

ぼくのモデルは、見付のお天神様(矢奈比売神社)に祀られている“霊犬しっぺい太郎”だよ。見付の町を妖怪から守ったんだ。しっぺい太郎が生まれた長野県駒ヶ根市は、磐田市と友好都市になっているんだ。見付は古くから東海道の宿場町として栄えたんだ。この地域には、磐田の総人口の15%の人たちが住んでいるよ。



### ●お天神様は2つある！？➡ ①（歴史を伝えるもの 住吉町と元天神町）

裸祭で有名な矢奈比売神社（見付天神様）は、もともとは現在の元天神町の元宮天神社のある場所に建てられていたのではないかと考えられています。つまり引っ越しをして今の場所に移ったわけです。これは、元天神町の元宮天神社が元宮（奥社）で、矢奈比売神社が本社の関係となり2つは同じ神社なのです。元宮天神社に御神体が置かれていないことからわかります。よつば学府には、このように古くからの歴史的建造物が数多くあります。

- ★お天神様やその他の歴史的建造物について調べるには
- ・「いわたふるさと散歩 見付編 磐田文化財マップ」（中央・福田・竜洋）※電子図書館でも見られます。
  - ・「磐田市トラベルランク観光ガイドブック」（全館） ・「磐田見付編 ありがた歩記」（全館）
  - ・「磐田を知りたい！調べたい！地名と寺院・神社の由来」（全館） ・『見付天神裸祭』（中央・福田）
  - ・「磐田を知りたい！調べたい！（小・中学生向け）磐田の祭り」（全館）
  - ・『はだかまつり 見付天神裸祭ガイドブック』（中央） ・『磐田ことはじめ 5』（中央）

### ●語り継ぐ戦争➡ ②（かぶと塚公園 河原町・子どもやくよけ地蔵 二番町）

市民の憩いの場である「かぶと塚公園」は、兜を伏せたような形の円墳があったことからこう呼ばれています。ここは、太平洋戦争中、陸軍中部第129部隊がおかれしました。また、磐田北小学校から磐田北高等学校に上る坂道の脇には、空襲によって命を落とした先生と児童を供養した「子どもやくよけ地蔵」が建っています。毎年、磐田北小学校の児童の代表が参加する慰霊祭が行われ、学校でも平和を考える学習がおこなわれてきました。

- ★戦争中のことについて調べるには
- ・「磐田を知りたい！調べたい！ 磐田の戦跡・戦争体験」（全館） ・『磐田昔がたり』（全館）
  - ・「わがまちみどころガイド」（中央・福田・竜洋） ・『二十一世紀に伝えたい戦争体験』（中央・竜洋）

### ●文化を伝える宿場町➡ ③ 本通り

東海道五十三次の江戸から数えて28番目が見付宿でした。東海道のほぼ中間に位置し、本陣や旅籠、商家でにぎわっていました。

今でも、小路(せまい道)に入ると寺や神社、倉などが多くみられます。また、見付天神裸祭をはじめ遠州大名行列や舞車、愛宕神社手筒花火など伝統を大切にしながらも新しい文化の風を生み出している地域でもあります。

- ★見付宿やまちづくりについて調べるには
- ・『磐田市史』（全館）
  - ・『磐田ことはじめ』（全館）
  - ・『磐田ものがたり』（全館）
  - ・『解説 旧見付学校』（全館）
  - ・『磐南の寺院』（全館）
  - ・『東海道見付宿屋号調べ』（中央）
  - ・『東海道分間延絵図 第10巻』（中央・竜洋）



### ●空を飛んだ男・鳥人幸吉、大泥棒・日本左衛門➡ ④（大見寺 二番町・遠州鈴ヶ森 富士見町）

ライト兄弟が人類最初の飛行機でのに成功したのは1903年。しかし、それよりも100年以上前に大空を飛んだ男がいたのです。鳥人幸吉こと浮田幸吉。幸吉の墓は大見寺にあり、飛行機のレプリカも見ることができます。鳥人幸吉をくわしく知るには、中央図書館 郷土資料「いいらいわた」の「幸吉」コーナーを見てください。幸吉生誕の地である岡山県玉野市と磐田市は、2015年、友好都市の関係を結びました。

この他にもよつば学府には、日本の近代化につくした赤松則良や磐田文庫をつくった大久保忠尚など魅力的な人物が多くいました。一方、江戸時代に、見付宿で盗みを重ねた日本左衛門(歌舞伎「白浪五人男」のモデル)もこの地に葬られました。

- ★見付の人物について調べるには
- ・『磐田人物往来』（全館） ・『赤松則良半生談』（中央・竜洋）